稼働30年超

新しいごみ処理施設(晴丘センター)へ

問 尾張東部衛生組合 ☎54-1643

毎日の暮らしから出るごみを処理し、私たちの生活を支えているごみ処理施設「晴丘センター」。施設の老朽化が進んでいることから、2025年度に「ごみ処理施設整備基本計画」を策定し、新しい施設の整備に向けた準備が進められています。なぜ更新が必要なのか、新しい施設はどうなるのか、今後の予定とともに紹介します。



なぜ建て替えるの？

ごみ焼却炉の寿命は、一般的に20～30年とされています。晴丘センターは、長久手市・瀬戸市・尾張旭市のごみ処理を行っていますが、稼働から30年以上が経過し、施設の更新が必要な時期を迎えています。持続可能なごみ処理体制を次世代へ継続するため、新しい施設の供用開始を目指して事業に取り組みます。

新しい施設はどうなる？

1日に処理できるごみの量	現施設	新施設
	300t/日	205t/日

POINT

次期施設は将来のごみ量を見据え、適正な規模で整備を計画しています。ごみの減量は、環境負荷の低減だけではなく、施設整備費や維持管理費の抑制にもつながります。「必要なものを必要な分だけ買う」「食べ残しを減らす」「資源を分別する」など、一人ひとりが今日からできるごみ減量に取り組みましょう。

今後の予定	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年
環境影響評価	周辺環境の影響を調査・予測・評価し、より環境にやさしい事業計画を立案する手続です。										
都市計画決定	施設を建設するために必要な都市計画の手続です。										
事業者選定		施設整備を行う事業者を選定する手続です。									
設計・建設(新可燃ごみ処理施設)				施設の設計を行い、安全に配慮しながら建設工事を進めます。							
供用開始											新しい施設でごみ処理を開始します。(稼働目標)

問 尾張旭市環境課 ☎76-8135

環境影響評価方法書・都市計画の概略の案を公表

晴丘センターの更新整備に関する環境影響評価方法書と都市計画の概略の案を公表します。

時 11月4日(水)～12月3日(木)

場 長久手市環境課窓口、尾張旭市HP
※尾張東部衛生組合、瀬戸市、尾張旭市、名古屋市でも閲覧可。

他 方法書への意見書は、住所、氏名、対象図書の名称、意見(理由含む)を記載し、12月17日(木)までに尾張旭市環境課に持参、メールまたは郵送(当日消印有効・様式不問)で提出。

環境影響評価方法書等説明会

晴丘センターの更新整備にあたり、環境への影響を調査する項目や手法をまとめた「環境影響評価方法書」と、新しい施設の整備区域のおおむねの位置や規模を定めた「都市計画の概略の案」について説明します。

時 ①11月20日(金)19:00～
②11月21日(土)10:00～

場 ①晴丘センター②尾張旭市役所